

# 新型コロナウイルス感染拡大による 2020年7月分病院経営状況調査



一般社団法人 日本病院会



公益社団法人 全日本病院協会



一般社団法人 日本医療法人協会

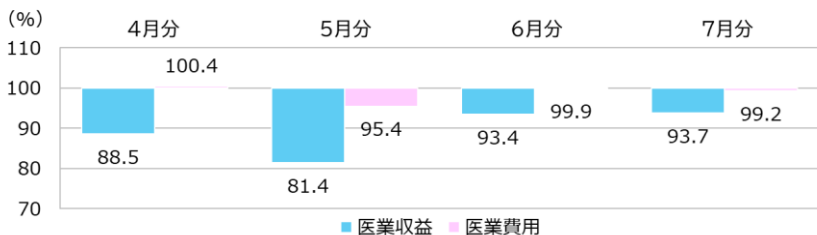
- この度、一般社団法人日本病院会、公益社団法人全日本病院協会、一般社団法人日本医療法人協会では、新型コロナウイルス感染拡大による病院経営状況を2020年第一四半期の調査に引き続き、その後の病院の経営状況の推移を把握する事を目的として、合同で7月の経営状況に関するアンケート調査を実施した。
- 調査期間は8月21日～8月27日に、3団体に加盟する全病院（4,496病院）の中で前回の第一四半期調査に協力いただいた病院から対象病院として222病院を抽出しメールで調査票を配布した。回答数は177病院(有効回答数177病院、有効回答率80%)であった。
- 今回の調査の結果から、4月に大幅に減少した病院の外来患者・入院患者数は5月にはさらに悪化、6月に入り入院・外来患者数は回復傾向となり7月も回復傾向の継続が認められた。しかしその回復は小幅にとどまり、依然として対前年では入院・外来患者数とも大幅な減少が続いていた。その結果、医業損益の大幅な赤字の継続が確認された。
- 現在、緊急包括支援事業による病院への支援が実行されつつあるが、病院の経営状況の悪化は深刻であり長期化が予想される。多くの病院が経営改善にさまざまな取り組みを行っているが、病院の経営改善は順調には進んでいない。特に7月後半から第2波と思われる感染拡大が全国で認められ、多くの病院が再度、新型コロナウイルス感染対応の拡充を余儀なくされている。病院への十分な支援が継続されない場合、地域医療を支える病院が経営破綻し、新型コロナウイルス感染症対応が不可能になるのみならず、地域医療が崩壊する危険性すらある。地域医療を支えるためには十分な経営支援の継続が必要と思われる。

## ■コロナ患者受入状況における経営指標の比較

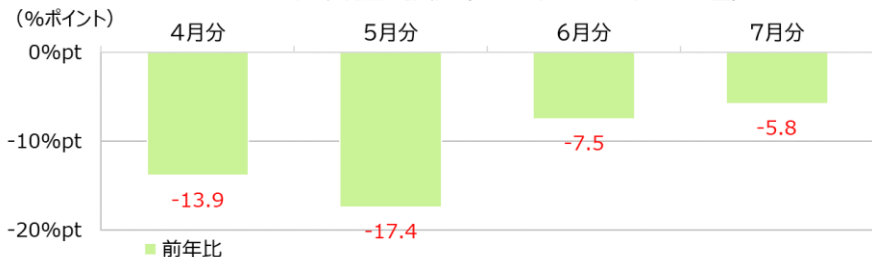
n=177

(単位：千円)	4月分 平均病床数：424			5月分 平均病床数：424			6月分 平均病床数：424			7月分 平均病床数：424		
	2019年4月	2020年4月	前年比	2019年5月	2020年5月	前年比	2019年6月	2020年6月	前年比	2019年7月	2020年7月	前年比
医業収益	1,038,679	919,543	-11.5%	1,033,865	841,283	-18.6%	1,037,075	968,523	-6.6%	1,104,420	1,034,789	-6.3%
入院診療収入	684,683	611,041	-10.8%	683,135	562,732	-17.6%	684,600	626,309	-8.5%	720,787	674,467	-6.4%
外来診療収入	308,000	274,704	-10.8%	305,711	250,731	-18.0%	300,791	297,412	-1.1%	328,624	311,028	-5.4%
健診・人間ドック等収入	16,271	7,870	-51.6%	17,816	5,395	-69.7%	21,192	16,380	-22.7%	23,369	20,404	-12.7%
室料差額・その他医業収入	29,724	25,928	-12.8%	27,203	22,424	-17.6%	30,492	28,421	-6.8%	31,641	28,890	-8.7%
医業費用	1,075,335	1,079,818	0.4%	1,043,546	995,758	-4.6%	1,125,381	1,123,941	-0.1%	1,089,239	1,080,669	-0.8%
医薬品費	189,431	190,187	0.4%	169,171	152,764	-9.7%	167,799	175,010	4.3%	184,968	183,800	-0.6%
診療材料費	127,396	117,685	-7.6%	114,824	91,010	-20.7%	118,823	110,246	-7.2%	129,561	121,923	-5.9%
給与費	504,562	514,246	1.9%	514,912	515,567	0.1%	586,004	588,755	0.5%	520,121	523,238	0.6%
その他経費	253,947	257,700	1.5%	244,639	236,417	-3.4%	252,755	249,930	-1.1%	254,589	251,708	-1.1%
医業利益	-36,657	-160,276		-9,681	-154,475		-88,306	-155,418		15,181	-45,880	
医業利益率	-3.5%	-17.4%		-0.9%	-18.4%		-8.5%	-16.0%		1.4%	-4.4%	

医業収益・医業費用の変化（2019年を100%として比較）



医業利益の推移（2019年と2020年の%の差）



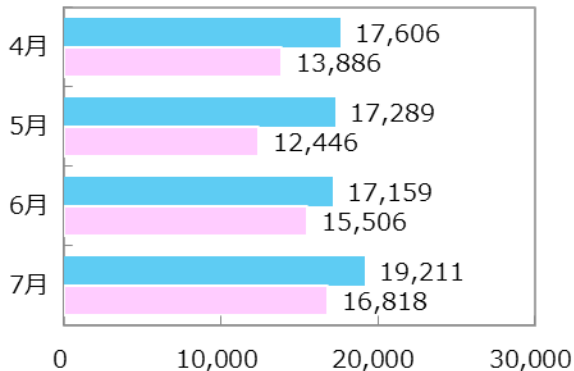
## ■外来患者統計

n=177

(単位：人)	2019年				2020年			
	4月	5月	6月	7月	4月	5月	6月	7月
外来患者延数	17,606	17,289	17,159	19,211	13,886	12,446	15,506	16,818
初診患者数	1,830	1,886	1,826	2,017	1,076	1,038	1,407	1,584
(再掲) 紹介状あり	787	759	806	886	495	439	671	733

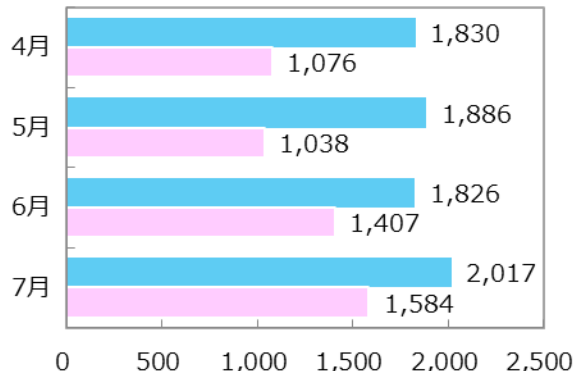
外来患者延数

■ 2019 ■ 2020 (単位：人)



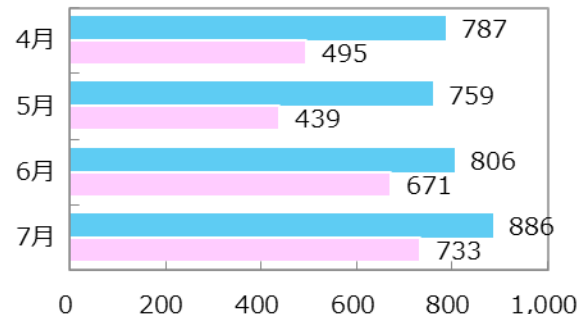
初診患者数

■ 2019 ■ 2020 (単位：人)



(再掲) 紹介状あり

■ 2019 ■ 2020 (単位：人)



## ■入院患者統計

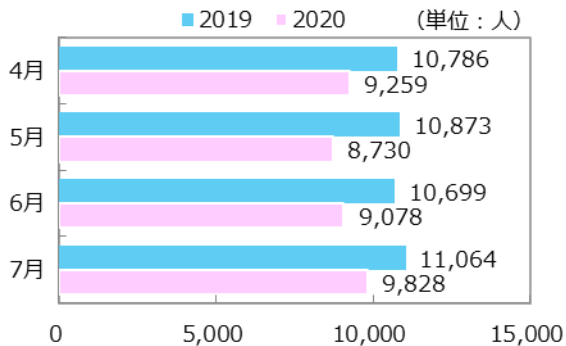
n=177

	2019年				2020年			
	4月	5月	6月	7月	4月	5月	6月	7月
月間日数 (日)	30	31	30	31	30	31	30	31
在院患者延数 (人)	9,962	10,092	9,884	10,216	8,579	8,144	8,404	9,081
新入院患者数 (人)	811	807	805	874	649	576	703	758
退院患者数 (人)	824	781	815	848	680	586	674	747
入院患者延数 (人) ※1	10,786	10,873	10,699	11,064	9,259	8,730	9,078	9,828
病床利用率 (%) ※2	78.8	77.4	78.2	77.6	68.4	63.1	66.8	69.3

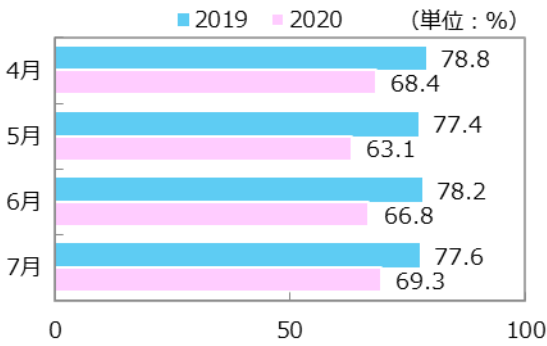
※1：在院患者延数+退院患者数

※2：在院患者延数÷(月間日数×許可病床数\_合計)×100

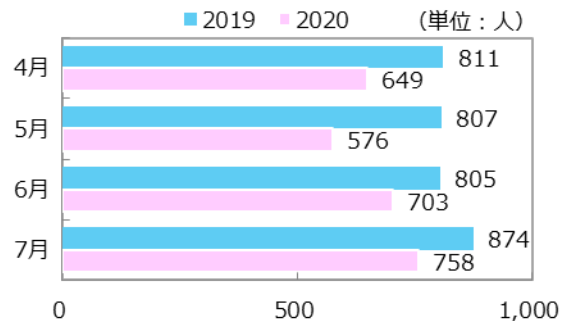
入院患者延数



病床利用率



(参考) 新入院患者数

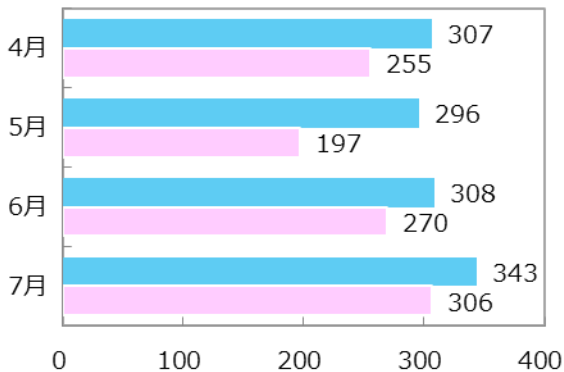


## ■手術・内視鏡等件数

(単位：平均件数)	病院数	2019年				2020年			
		4月	5月	6月	7月	4月	5月	6月	7月
手術件数 (手術室)	177	307	296	308	343	255	197	270	306
検査・治療 (内視鏡)	176	560	548	592	622	367	290	470	526
検査・治療 (血管造影)	171	100	96	98	110	80	67	88	101

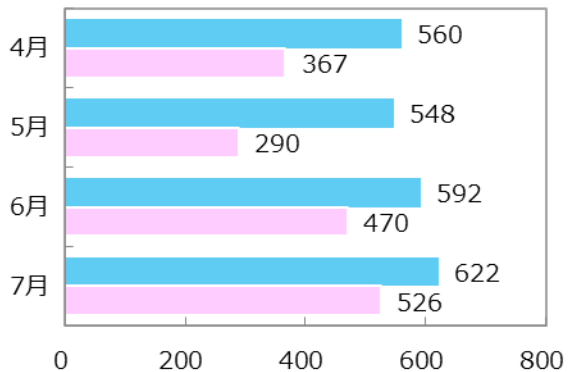
手術件数 (手術室)

■ 2019 ■ 2020 (単位：件数)



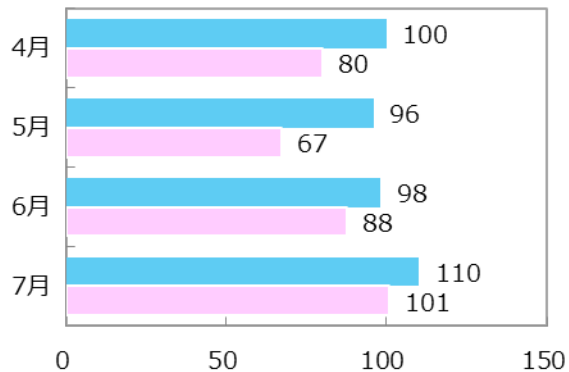
検査・治療 (内視鏡)

■ 2019 ■ 2020 (単位：件数)



検査・治療 (血管造影)

■ 2019 ■ 2020 (単位：件数)

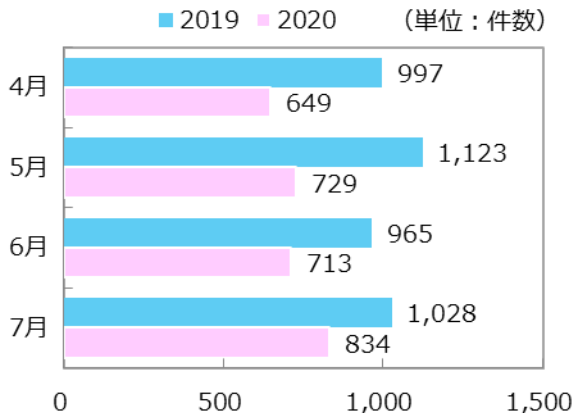


## ■救急受入件数

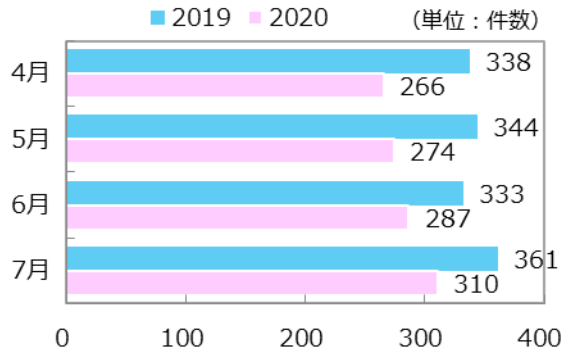
n=177 (該当病院数)

	2019年				2020年			
	4月	5月	6月	7月	4月	5月	6月	7月
平均値 救急患者受入件数	997	1,123	965	1,028	649	729	713	834
うち、救急車受入件数	338	344	333	361	266	274	287	310
総数 救急患者受入件数	176,469	198,727	170,876	182,024	114,852	129,050	126,142	147,612
うち、救急車受入件数	59,750	60,975	58,863	63,905	47,089	48,542	50,744	54,950

救急患者受入件数



うち、救急車受入件数



■陽性者数(厚生労働省資料)

